



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 9. 27

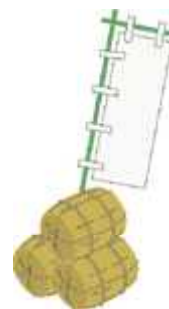
3, 4年生用 No.45

進学した先輩頑張る

先日ある県外の四年生大学の方が来校して今年の4月に本校から進学した先輩が夏休み前の前期試験で在籍学科で2番の成績を収めたという報告を受けました。またある専門学校へ進学した先輩が前期試験でトップとなり、授業料全額免除の特待生になったという報告もありました。また今年本校から国立大学へ進学した二人の先輩がそれぞれ夏休み中に来校して、前期の成績表を持ってきて見せてくれました。二人とも頑張っている様子に安心しました。

それぞれ、外の世界に出て行き**他流試合でこうして頑張っている様子は学校としても大変嬉しいことです。後輩の皆さんにとっても自信に繋がるでしょう。是非こうした先輩達に続く後輩達が育って欲しい**ものです。

ただし、中には進学したがついて行かぬに困っているという報告も先日ある学校からありました。進路室には企業のみならず色々な学校からのお客さんがあります。そうした中で以前に本校から進学した先輩達の進学後の動向も各学校から報告があります。**進学後にも卒業するまで学校での様子は出身高校の進路室に報告されている**ことを肝に銘じておいて下さい。



就職戦線厳しさ顕著！

就職試験の結果が順次報告されていますが、予想以上に不合格者が多くなっています。当初この生徒は大丈夫だろうと思っていたものが不合格というケースも幾つかあります。不合格者の理由を企業に問い合わせると、「基礎学力不足」、「覇気がない」といった例が多いように感じます。

受験してきた何人かの生徒が「**SPI2の問題集をもう少ししっかりやっていたら良かった**」と言っていました。日頃から先生方が言っていたことです。せめて二次試験の際この反省を他の人も生かして欲しいものです。

またある合格者は、企業より報告の際、「学科試験はやや出来が悪かったが、面接の時にやる気を感じさせ、また見学時や受験の際一番先に来ており意欲を感じ採用した」と言っていました。学科試験が出来るに越したことはありませんが、面接時にやる気を感じさせると採用される可能性が高まるという良い例でしょう。

毎年一次試験は本校では合格率50%ですが今年はずっと悪くなりそうです。今年は80人余の就職希望に対して、これから二次以降で50人近い生徒が仕切り直しとなれば、最終的にどれだけ内定できるのか大変不安です。二次の求人が出次第紹介していきますが、もっと良い会社が出るかもしれないと、**いつまでも迷っている余裕がない**ことを肝に銘じて下さい。

10のうち9失敗して
1成功する人間のほうが、
沈思黙考して
1しか試さない人間よりは、
よほど成功の確率が高まります。

10実行して9失敗する人間は、
言い方を変えれば、
100実行したら、
10成功する人間なのです。

(プロ法律家のビジネス成功術、
金森重樹)

